

幸福を招く花 フクジュソウ 開花が始まりました



開花始めを迎えたフクジュソウ (1/30 撮影)

国営昭和記念公園（立川市・昭島市）では、春の来訪を告げる**フクジュソウ**の開花が始まりました。先週より花が開き始め、現在は、園内4,100芽のうち8芽ほどが花を咲かせています。（@花木園・花木園梅園）暖かい日が続いていたためか、今にも花を咲かせそうな芽がちらほらと見受けられます。今年は、昨年より2週間ほど開花がはやく見頃は2月上旬から中旬にかけてとなりそう。

1番に春を告げる草という意味から、江戸時代には“福告ぐ草”と呼ばれていたフクジュソウ。おめでたい“福寿（幸福と長寿）”が語源だとも。フクジュソウは直径3cm程度の光沢のある黄金色の花が特徴。最初は、1つ、2つと遠慮がちに花を咲かせますが、少しずつ増えていき、やがて地面いっぱいに黄金色の花を咲かせます。

フクジュソウは、日が当たり暖かくなると花が開き、気温が低い夕方や曇りの日には花を閉じる習性を持っています。季節だけでなく、時間帯や気温に合わせて花を咲かせる姿もフクジュソウの特徴です。

【早咲のウメも見頃を迎えています】

園内では、フクジュソウに合わせて早咲きのウメもお楽しみいただけます。八重野梅、ヒシオウ鶯鶯は見頃を迎え、オオサカサキ大盃やミチシルベ道知辺も開花し始めました。（@花木園梅園）

春を運ぶ花たちの取材・記事の掲載のほどよろしくお願いたします。



見頃を迎えた八重野梅 (1/30 撮影)



見頃を迎えた鶯鶯 (1/30 撮影)